

【現代社会】作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」についてのイメージ（素案）

検討中

下段は、上段に挙げている学習過程の場面において発揮する力のうち、大学入学共通テストにおいて主に問いたい「思考力・判断力・表現力」である

【考察・構想(※注)】 ●社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連について，概念等を活用して多面的・多角的に考察することができる ●現代社会に見られる課題を把握し，複数の立場や意見を踏まえて，その解決に向けて構想することができる	【説明】 ●考察したことや構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる ・学習課題を振り返って結論をまとめることができる ・結論について検証することができる ・新たな問い（課題）を見いだしたり追究したりすることができる
概念や理論等を活用し，対象を考察し，現代社会の諸課題をとらえることができる	社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を，理由や根拠に基づいてまとめることができる
概念や理論等を活用し，制度や政策，日常生活に見られる人々の行為等，社会的事象の本質をとらえることができる	○作問にあたっての場面設定の工夫例 ・社会的事象等を多面的・多角的に考察する学習活動を通じて，現代社会の課題について自分の意見を形成しようとする場面
概念や理論等を活用し，制度や政策，日常生活に見られる人々の行為等，社会的事象の意味や意義を解釈することができる	
概念や理論等を活用し，社会的事象等の原因と結果等，関連について考察することができる	
現代社会の諸課題を多面的・多角的に考察し，その解決に向けて，公正に判断することができる	
様々な立場からの主張を，根拠に基づいて多面的・多角的に考察し，現代社会の諸課題の解決に向けて，公正に判断することができる	

※注） 構想については，社会に見られる課題の解決に向けて，広い視野から構想（選択・判断）することを示している。（参考：『平成28年12月21日中央教育審議会答申』より）

○自由記述では，以下のことを問える可能性がある。

- ・社会的事象等を考察するにあたって，自ら課題設定し，適切な資料や方法を用いて考察することができる
- ・社会的事象等を多面的・多角的に考察し，自らが構想した過程や結果を諸資料などの根拠に基づいて論理的・効果的に表現することができる
- ・社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を踏まえ，課題解決に向けて自分の意見を形成して，適切に表現することができる
- ・考察したことや構想したことから，新たな課題を見いだすことができる